

学校教育目標 <元気あふれる学校> 夢に向かって笑顔で学び合う子どもの育成

<元気あふれる学校>は、金泉中・金立小・久保泉小統一の「雄飛学園」の目標です!!



久保泉だより

佐賀市立久保泉小学校

学校だより 第20号

令和6年10月23日

文責：校長 中村 佳代

*** パワーポイントを使って!! ***

3年生の教室をのぞいてみると、電子黒板を使って説明されている先生の話をも、とても熱心に聞いている子どもたちの姿がありました。パワーポイントを使って、新しいシートを開いたり、検索の機能を使って、自分の好きな物の写真や映像を探したりする方法を学んでいました。「ここを押す」「ここを入力する」「ここを開く」「コピーしてくる」「貼り付ける」といった一連の流れをつかんでいます。ローマ字の一覧表を片手に、ローマ字入力にも取り組んでいました。名前の入力も写真の貼り付けも、とても上手にできていましたよ。今回は、練習段階だったようでしたが、きっとこの後の学習では、著作権のことについても学んでいくことでしょう。パワーポイントを使って、発表の原稿を作成したり、まとめの学習に活用したりすることもできるようになってくることでしょう。これからの学習が楽しみです。



*** あきのおもちゃをつくろう!! ***

1年生の教室では、「どんぐりごま」づくりが行われていました。「秋のおもちゃ」を作る学習で、どの子どもも楽しそうです。御家族の方にも御協力いただいたのでしょうか、机の上にはいろいろな種類のどんぐりやどんぐりのぼうし、まつぼっくりなどなど、たくさんの材料が並べられていました。お気に入りのどんぐりに、

先生から穴を開けてもらっては、棒を差し込み、色を付けたり飾りを付けたりして、思い思いのどんぐりごまを完成させていました。回すだけでなく、工夫した遊びも考えていましたよ。



*** 代表委員会に向けて ***

6年生の教室では、代表委員会に向けての話し合い活動が行われていました。「(12月に予定されている)『いずみ祭り』を盛り上げよう」という議題でした。話し合いの柱である「感謝の気持ちを伝える



方法」や「飾り付け」について、一人一人が意見を出し合い、結論を導き出そうとしている様子が見られました。一つ一つのことが小学校生活最後となる6年生にとっては、学校行事そのものもそうですが、みんなで話し合う時間も大切な経験となることでしょう。各学級から持ち寄った案が代表委員会で話し合われ、取り上げられた案が実現につながり、子どもたちが思い描く「いずみ祭り」となることを期待しています。

*** 白鬚神社「田楽」出前授業 ***

10月18日(金)に、「白鬚神社の田楽」の「出前授業」を行っていただきました。「白鬚神社の田楽」は、佐賀県に残る唯一の稚児田楽であると聞きます。秋季例祭において、神社で奉納される国指定の重要無形民俗文化財の舞楽だそうです。今年度は、白鬚神社の「1450年奉祝秋祭」を兼ねていることもあり、神幸祭の中での神輿の御旅所を本校の体育館としていただくことで、御旅所祭の開催、田楽の披露を行っていただきました。「ササラツキ」として、6年の梶原和樹さん・馬渡颯太さんが、「ハナモチ」として、1年の築山楓さん・池田創さんが、それぞれの役を演じました。演者の衣装や化粧、花笠等は、他の田楽には見られない、独特の特色なのだそうです。短期間での練習であったとお聞きしましたが、厳かな中に、風流を感じさせられる舞でした。

全校のみんなが揃って、このような「田楽」を鑑賞するような機会は、なかなかないのではないかと思います。実際の「田楽」は、80分ほどの時間になるそうです。それだけの長い時間、演じ続ける演者の集中力に、感心させられます。今回の「出前授業」では、25分ほどの時間に短縮したバージョンで披露していただきました。入場から退場まで、鑑賞の時間は45分ほどになりましたが、どの子も集中して、とても静かに、熱心に鑑賞することができていました。また、保護者や地域のみなさまにも、たくさんおいでいただき、一緒に参観していただくことができました。ありがとうございました。地域の伝統文化や伝統芸能に触れることができる、大変貴重な時間となりました。

